

注意報 注意報 注意報 注意報 注意報 注意報 注意報

22高虫防第38号
平成22年7月22日

関係機関長 様

高知県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について

病害虫発生予察注意報第1号を送付します。

平成22年度病害虫発生予察注意報第1号

平成22年7月22日
高知県病害虫防除所長

チャバネアオカメムシ(果樹カメムシ類)

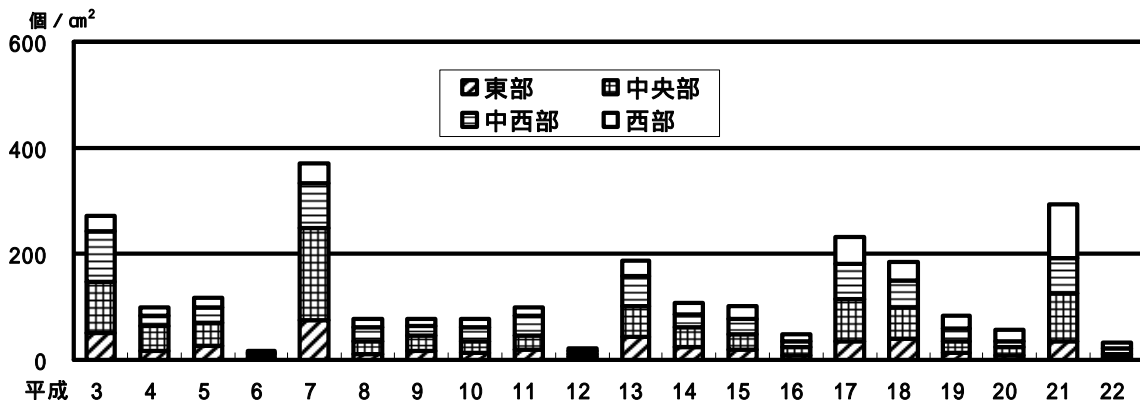
1. 対象作物 カキ
2. 発生地域 県内全域
3. 発生時期 7月下旬以降
4. 発生程度 多
5. 注意報発令の根拠
 - 1) 県内4ヶ所に設置したフェロモントラップにおける果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ)の誘殺数は、いずれの地区でも6月中旬以降急激に増加し、7月上旬の誘殺数は過去10年間で最も多い(第1表)。なお、誘殺されたカメムシの種類はチャバネアオカメムシがほとんどであった。
 - 2) 本年の春における、チャバネアオカメムシの発生量は一部地区のカンキツ園やスモモ園で、平年に比べ多かった。
 - 3) チャバネアオカメムシは初夏にスギ・ヒノキの果実(毬果)に産卵し、それを餌として成長するが、本年の春はスギ・ヒノキの花粉飛散量が少なく(第1図)、毬果の結実量は少ないと考えられることから、今後、餌を求めてカキ園に飛来する可能性がある。
6. 防除対策
 - 1) 果樹カメムシ類の飛来量・時期は園地間差が大きいですが、カキ園では7月下旬から飛来し果実を加害する可能性があるため、発生を確認したら早めに防除する。また、無袋栽培のナシやモモ、極早生の温州ミカンなどでも、カメムシの飛来に注意する。

- 2) 果樹カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺数の推移は、高知県病害虫防除所のホームページ (<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/byoki/boujoshou/>) に掲載しているので、果樹園での発生の参考にする。
- 3) 防除等の詳細については、県防除指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、農薬安全使用基準を遵守する。

第1表：県内4ヶ所 1のフェロモントラップによる果樹カメムシ類 2の誘殺数(7月上旬)

年	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	平年値
東部	3	578	151	23	1	12	1	4	183	668	118
中央部	1	469	132	80	1	67	115	19	76	1465	117
中西部	1	791	11	9	0	142	284	4	67	851	225
西部	0	178	41	101	0	107	175	19	84	184	117
合計	5	2016	335	213	2	328	575	46	410	3168	577

- 1 東部:安芸市井ノ口、中央部:香美市土佐山田町鏡野、中西部:須崎市浦の内、西部:四万十市名鹿
- 2 果樹カメムシ類:チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシの合計



第1図 高知県内の年別スギ、ヒノキの花粉飛散量(1～5月:1日当たり)

* 穂果の結実量は花粉飛散量と正の相関関係があります。